

かながわ経済新聞 [ビズログ]

KANAKEI Biz Log

県内ビジネス情報イッキ読み!

※本紙全てのコンテンツの無断転載・複製・転用を禁じます。

2020 11月号
VOL.083

〈発行〉 **KANAKEI** かながわ経済新聞
〒252-0239 相模原市中央区中央3-12-3
相模原商工会館 本館 1F
〈制作〉 神奈川新聞社、DNAデザイン

11月 11日 木曜日

社長の専門家
りんくグループ

042-739-7831
www.link-tax.com

税務・会計・経営支援

0 りんく ちようどいい

「人財」でお困りなら

株式会社
mio ミヨシ・ロジスティックス

042-779-6619 <http://miyoshi-log.co.jp/>

かながわ経済新聞

2020. 11月号

吉田英訓の

連載記事が掲載されました。

アウトソーシング(外部委託)活用法

第11回 アウトソーシング導入の注意点②

今回はアウトソーシングする際には「確認作業」がとても重要になるとい話をしました。今回はさらに踏み込みます。「確認作業をどう行っていくか」です。

さて、みなさまは普段、自社業務について、どのように確認作業を行っていますか? 確認作業に漏れがある状態で納品したため、品質不良などのロスを発生させてしまった経験はないでしょうか。

仕事に対する自信や長年の経験といった「根拠のない理由」により、確認作業を省略してしまうことが、どんな業務であれ、実はものすごく多い気がします。

なぜ確認作業ができないのでしょうか。答えは簡単で、確認作業が「仕事のサイクル」に入っていないケースが多いからです。

確かに、身近には「作業標準」や「作業指示書」など、さまざま

な基準があります。ただ、どの基準にも「確認する」との項目が入っていないため、確認作業はオプション的なものになります。時間的な余裕やその他さまざまな理由で省かれてしまうのです。

そのため、最初に基準の中に「確認作業」という項目を入れておくことで習慣となりあらゆるロスの解消につながります。

このことはアウトソーシングでも同じです。相手先と

の契約書などに、詳細をきちんと決めておくことがとても重要になってきます。

確認作業の詳細は、いわゆる「5W1H」に沿って決めておくのが一番分かりやすいと感じます。人が動く以上、ミスは必ず発生します。しかし、そのミスをどう予防するかがとても重要になってくると思います。

(ミヨシ・ロジスティックス代表取締役/近未来技術研究会会長)



吉田英訓の
着眼大局 着手小局
～人と企業～